



特集 テーマ

平和なときって、どんなとき？

令和4年10月発行（昭和51年12月1日発行）

平和なとき

おなかがいっぱい食べられる

朝までぐっすり眠れる

おもいっきり遊べる

好きな歌が歌える

好きな人のそばにいられる

好きなひとのそばにいられる

友だちといっしょに勉強ができる

いやなことはいやだと言え

あなたにとっての平和とは？

平和ではないとき

戦争のとき

ケンカをする

暴力をふるわれる

自由ができない

いじめられる

まわりから無視される

憎しみ合う

戦争は、平和の土台をどわします

平和は、毎日の暮らしの中にあります。

平和な毎日には、いろんな人やモノやお金（経済）、法まじりと約束ごと（法律や政治）にも守られています。

平和は、人が人間らしく生きるための土台です！

平和な世界にするために私たちにできることを考えてみましょう。

なぜ人は争うのかな？

暴力にうったえる戦争

人と人がケンカをするように、国と国、国と国民などが対立して、話し合えて解決できず、暴力（武力）で言うことをきかせようとするとき起きるのが、戦争です。

戦争が起こる原因は？

地球環境の悪化や人口の増加で、水や食料、資源、土地などが手に入りにくくなると、奪い合いや争いが起こりやすくなります。宗教、民族、政治の考え方の違いなどによる対立もあります。

新しいゲームを兄弟で仲良く使うようにと、考えてみよう！

お母さんに買ってもらいました。けれども、兄は独り占めして貸してくれません。そこで、弟はゲームを力づくで横取りしようとしたので、取っ組み合いのケンカになりました。

なぜ、ケンカになったのかな？ どうしたら、平和に解決できるかな？

平和とSDGs

目標16

平和と公正をすべての人に



争いのない平和な社会を実現するために掲げられた目標です



世界の現状

世界のどこかで、5分に1人子どもが暴力で亡くなっています。紛争の影響で学校に通えていない子どもたちは、2,700万人います。出典：UNICEF ホームページ

平和な世界をつくる私の方法

知る

世界のニュースや出来事に関心をもって見る

歴史や過去の戦争について調べてみる

平和についての本や映画など見てみる

考える

相手の大切なもの、気持ちを考える

戦争になるとどんな毎日になるかを考えてみる

戦争で傷ついた人たちはどうしているのかを考えてみる

行動する

難民や子どもたちのための募金やメッセージを集める

いろんな違いや同じを知って他の国の人と仲良くする

私たちにできることは？



暴力的な争いを避けるためには……

対話 話し合い

自分の考え方を相手に伝え、話し合い、うまくいくように、お互いに協力して、一番良い考えをみつけていく

理解 ゆずり合い

相手の立場にたって考え、意見をきちんと聞いて、受け入れる努力をする

思いやり 助け合い

思いやりをもって相手と接していれば、相手も自分のことを思いやってくれる

みなさんただかに対して「許さない」「傷つけた」といった気持ちになることがあるかもしれません。そんなときは、深呼吸して、心を落ち着かせましょう。



平和のシンボル

シンボルになった由来を調べてみよう



各校のボランティア・地域活動の紹介

長野町立 辰野南小学校

広げよう!! ふるさとの良さ

育ちの森を未来へ



「育ちの森（学校林）」の活動は、「四季ごとに林の中で触れる自然を通して、ふるさとの良さを感じる経験をしてほしい」という地域の方の思いから始まりました。現在まで16年間続いている活動で、春と秋の年2回、ボランティアの方と一っしょに取り組んでいます。春、高学年は、「植樹」森の看板磨き「手作り巣箱のかけ替え」をしました。巣箱に野鳥が来てくれたかどうか楽しみにのぞいて見ると、「卵があった!」と歓声が上がりました。

低学年は、「♪タッチタッチたち」とリズムにのって木や葉っぱに触れるネイチャーゲームをしたり、木の枝を使った「オブジェづくり」を楽しんだりしました。自然の中で活動していると、「次は、何をしよう?」とわくわくしてきます。ボランティアの方は、「森は生き物の生活を守る大切な場所。『育ちの森』の風景を忘れずに、ずっと引き継いでいってほしい」と話します。ふるさとの良さを未来につなげるために、私たちはどんなことができるのかを考えながら、これからも楽しく取り組んでいこうと思います。

私たちの学校では、こんな活動をしています。

各校のボランティア・地域活動の紹介

安曇野市立 明南小学校

地域と共に

「とんがりサポート」のみなさんに感謝の気持ちを伝えたい!



明南小学校では、地域やPTAのみなさんが『とんがりサポート』として、学校に積極的に関わってくれています。登下校時の見守り、読み聞かせ、行事のつきあいなどを通して交流を深めています。例年であれば運動会や音楽会などの行事にみなさんをお招きしているのですが、昨年度はコロナ禍で実現することができませんでした。そこで、11月の『明南まつり』へお招きし、クラブ発表の様子や全校ストリートダンスの発表を観ていただくことを考えました。

ダンスは、「A・RA・SHI」。曲の最後には県内で活躍するプロダンサーの方にアレンジをお願いして、郷土に伝わる「明料音頭」の振り付けを入れました。約1ヶ月間、プロダンサーの方に教わったり、タブレットを使って教室で練習したりして全校で作り上げた「A・RA・SHI」。

『明南まつり』では、感謝と郷土を愛する気持ちを伝えることができ、すばらしい交流の機会となりました。

18歳までの子どもがかけられる「子ども専用の電話」

チャイルドライン

フリーダイヤル **0120-99-7777**

困っているとき、悩んでいるとき、なんとなく「だれかに話したい」、そんなとき……気軽にかけてください。

みんなにカードが届くよ、フリーダイヤルでかけてね!

★ちょっといいにくいけども、名前は言わなくていいので安心して話してください。

★お説教はしません。どんなことでも、いっしょに考えます。

チャイルドラインはみなさんの赤い羽根共同募金が設立されています。



社会福祉法人 ふれあいネットワーク

長野県社会福祉協議会

まちづくりボランティアセンター

〒380-0936 大字中野所字岡田98番地1 長野保健福祉事務所庁舎内
TEL.026-226-1882 FAX.026-227-0137 Eメール vcen@nsyakyu.or.jp
ホームページ http://www.nsyakyu.or.jp

あなたのまちのボランティアセンターへ行こう!

公益社団法人

信濃教育会

〒380-0846 長野市旭町1098 TEL.026-232-6994
ホームページ http://www.shinkyu.or.jp/

やまびこだよりは、長野県社会福祉協議会のホームページからPDFファイルおよび音訳データとしてダウンロードできます。
<http://www.nsyakyu.or.jp>

この新聞の発行には、みなさんの赤い羽根共同募金が設立されています。